

長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会
第5回 もんぜんぷら座敷地利活用検討部会 議事録

日時：令和6年3月14日(木) 午後2時から
場所：長野市役所 講堂（第二庁舎10階）

出席委員：13名

柳沢部会長、石川副部会長、金澤委員、川北委員、柄澤委員、横田委員、青木委員、塚田（ま）委員、塚田（篤）委員、篠原委員、鈴木委員、吉田委員、植木委員

欠席委員：2名

古後委員、太田委員

- 1 開会
- 2 長野市都市整備部長あいさつ
- 3 もんぜんぷら座敷地利活用検討部会長あいさつ
- 4 議事

（1）評価専門委員会への報告案について

資料1（説明者：事務局）

資料2（説明者：部会長（読み上げ））

委員	前回よりも具体的なものになっていると思うが、2点意見を申し上げる。 資料2の1ページ目、上から4行目に記載されている「低未利用な土地」という表現が分かりにくい。「有効な活用が進んでいない土地」、あるいは「有効な利用がされていない土地」のような表現に言い換えたらどうか。 新田町交差点周辺のまちづくりのテーマとして、キャッチコピーを考えていただいたことは非常に良いと思う。ただ、「居心地の良い まちなかの居場所」となっているが、そもそも居場所は居心地が良いものだし、もう少し違う表現を考えても良いのではないか。例えば、「出会いが生まれるまちなかの居場所」や「交流が始まるまちなかの居場所」など、そういった具体的で分かりやすいものにしたらどうか。
事務局	まず、「低未利用な土地」という記載については、一般の方にも分かるような表現に修正する。 新田町交差点周辺のまちづくりのテーマについては、前回までは「まちなかの居場所」という表現であったが、前回の部会において、わくわくを感じられるようなものにしてはどうかという御意見をいただいた。そして、委員から、そこに居ても良いと思える場所にしたいという意味を込めて「居心地の良い」という具体的な表現を御提案いただいたため、「居心地の良い まちなかの居場所」とまとめさせて

	いただいた。御提案いただいた「出会いが生まれる」や「交流が始まる」という表現もわくわくする表現であると思う。いただいた意見も踏まえ、どのような表現にするのか検討したい。
事務局	前回の部会でいただいた御意見を基に「居心地の良い」という言葉を入れたが、今いただいた例示も含めて、委員の皆様の中でどのような表現が良いのか御議論いただきたいが、いかがか。
委員	「心地の良い まちなかの居場所」という表現方法もあると思う。
部会長	「心地の良い まちなかの居場所」も良いと思う。他に御意見はあるか。
委員	「居心地の良い まちなかの居場所」だと、「居」という漢字が重複するので、「居心地」については「いごち」とひらがなで表記したら良いのではないか。先日、ウォークブルシティに関する講演会の中で、誰もが居心地が良いと感じるような、あたたかい気持ちで過ごせる場所がまちなかにあることは大切であるという話を伺い、まちなかの居心地の良さは大事だと思った。積極的に何かするというより、誰もがそこに居て良いんだと思えるような、あたたかいイメージが伝わる表現が良いので、ひらがなの方が良いと思う。
部会長	確かに、漢字は硬い感じがする。居心地が良くて、そこから交流が始まるという表現か、或いは心地が良いという表現も簡潔で良い。
委員	「居心地」だけでなく「良い」という字もひらがなが良い。「よい」は「良」という漢字の表現だけではない。「居」という漢字も2文字あると目障りな感じがするので、ひらがなにするのも良いと思う。
部会長	「居」が2回出てくるので、私も読んでいて少し読みにくかった。ひらがなの方が柔らかい感じがする。
委員	住民の立場からすると、ひらがなの「いごちのよい まちなかの居場所」というのは良い。こういうところに住みたいと思う。特にひらがなだと柔らかくて良い。「いごちのよい まちなかの居場所」はとても良い言葉だとつくづく感じる。長生きしたいなあと思う。
委員	居心地の良いまちになることは良いと思う。たくさん人が集まってくれば、周辺で買い物もしてもらえる。
委員	表記するなら、ひらがなで柔らかい方が高齢の方々にも良いと思う。
委員	「居心地の良い」と「心地の良い」というのは、微妙にニュアンスが違うと思う。「心地の良い」の方が汎用性が高く、風が吹いていそうな雰囲気とする。どちらの表現にするのか考えてみても良いのではないか。 また、全部ひらがなで表記するのもありではないかと思う。全部ひらがなにすることで、まだ何色になるのか分からない感じがするし、

	新しいことを考えたなという感じが出ると思う。
部会長	全部ひらがなというのは、新しい考えだと思う。
委員	私も「居心地の良い」と「心地の良い」はニュアンスが違うと思う。「居心地の良い」なら「まちなかの場所」だし、「心地の良い」なら「まちなかの居場所」だと思う。「居心地の良い（いごちのよい） まちなかの場所」か「心地の良い（こちのよい） まちなかの居場所」のどちらかというようにした方が良いのではないかな。表記については、全部ひらがなというのも良いし、エリアというのを強調するなら「場所」だけ漢字というのもありだと思う。
委員	「居」という字が付くと、居住空間のような、エリアが区切られるような感覚がある。私は、「こちのよい まちなかの居場所」の方が合っていると思う。
部会長	では、「こちのよい まちなかの居場所」にして、「こち」はひらがなでいかがか。
委員	実際に文字を並べて、見比べてみないとイメージが湧かない。
事務局	ホワイトボードに書くので、見比べていただければと思う。
部会長	ホワイトボードを用意している間に、他に質問や御意見があればお聞きしたいが、いかがか。
委員	資料２の３ページ「もんぜんぶら座の既存機能について」の中で、「事務所機能はエリア外へ移転する」と記載があるが、この書き方だと、オフィス機能を移すだけで観光振興などの取り組み自体は継続するというニュアンスが伝わらないのではないかなと思う。検討してきた我々は経緯を知っているので理解できるが、初見だと機能そのものがどこかに行ってしまうような印象を持ってしまうのではないかな。
事務局	「その他事務所」という表現では、どんな事務所の、どんな機能を移転するのかが分かりにくいという御意見だと思うが、今回の答申は、もんぜんぶら座の既存機能等について、ある程度ベースの知識がある方に対してということ想定しても良いと思っている。
委員	資料１の４ページ目「もんぜんぶら座解体後の建物敷地の利活用について」の内容について、今後具体的に検討していく中で、民間でももんぜんぶら座敷地に新しい機能を導入することが可能となった場合に、PPPという一言だけが答申に記載されている状態で、その新しい機能をうまく組み込むことができるのか。
事務局	PPPとは、まさにそのようなことをするための手法である。行政側が民間からお話をいただいて協働で進めていくというのがPPPだと思っている。
委員	若い方々の意見をもっと聞きたい。今後、若い世代の集まる会合も活用していただきたい。
事務局	まずは、本部会から中心市街地活性化基本計画評価専門委員会へ答申案を上げて、中心市街地活性化基本計画評価専門委員会から市へ答

	申していただく。それを受けて、市として具体的な検討に入っていくことになる。
	※ホワイトボードを見ながら議論 「心地の良い まちなかの居場所」 「ここのよい まちなかの居場所」 「ここのよい まちなかのいばしょ」
部会長	ホワイトボードに漢字、ひらがなで新田町交差点周辺のまちづくりのテーマを書いていただいた。ご覧いただいて、いかがか。
部会長	やっぱり「心地の良い まちなかの居場所」だと硬い感じがする。
全委員	賛同
部会長	「ここのよい まちなかの居場所」か、「ここのよい まちなかのいばしょ」か。
委員	「ここのよい まちなかのいばしょ」と全部ひらがなにすると「いばしょ」があまり頭に入ってこない気がする。
委員	そう思う。
委員	そう思う。
部会長	「ここのよい まちなかの居場所」でいかがか。
委員	「ここのよい」ではなく、「ここのよい」の方が良いのではないかと 思うが、いかがか。「の」が入ると説明らしくなる気がする。
部会長	「ここのよい まちなかの居場所」という意見が出たが、いかが か。
全委員	賛同
委員	資料2の2ページ目「まちづくりの方針」（3段落目2行目）の「ま ちの魅力向上」という文言を「長野市の魅力向上」に修正していただ くことはできないか。今回の検討が中心市街地だけではなく、中山間 地も含めた長野市全体の活性化に役立つという意味を持たせることで 期待が高まると思う。
委員	良いと思う。
事務局	ただいまの提案について、皆様で作り上げた提言であるので、皆様 から了承をいただければと思うが、いかがか。
複数委員	賛同
部会長	それでは、いただいた御意見のとおり修正をお願いしたい。
委員	資料2の3ページ目、市民活動・交流支援機能の例に記載されてい る「音楽やダンスに使えるスタジオ」という部分に「演劇」という文 言も加えていただきたい。
部会長	「音楽やダンス、演劇などに使えるスタジオ」という表現へ変更し てほしいという御意見であった。
委員	確認させていただきたい。資料2の4ページ目「新田町交差点周辺 に新たに導入することが望ましい機能」の中に、図書館機能やギャラ

	リー機能が記載されている。もちろん導入していただきたい機能だと思っているが、図書館機能等はもんぜんぷら座解体後の跡地に建設される建物に導入されるのか、それとももんぜんぷら座の周辺エリアに導入されるのか。
事務局	これまでの部会でいただいた御意見を取りまとめると、もんぜんぷら座自体は取り壊すことになっているので、再開発事業に合わせて移転したり、別の既存施設に移転し、もんぜんぷら座敷地については、新たにPPPなどを活用していく、という認識である。図書館機能等は皆様からもんぜんぷら座敷地ではなく、その周辺に導入するという提案をいただいていると認識している。
委員	当初から不思議に感じていたが、この会議は答申案のタイトルにあるように、もんぜんぷら座敷地の利活用を検討する場なのか。それとも新田町交差点周辺のまちづくりに関する検討をする場なのか。答申案のタイトルと中身が一致しないように思う。
事務局	諮問のタイトルはもんぜんぷら座敷地利活用になっているが、今回検討いただいたのは、もんぜんぷら座敷地の利活用、当該施設に有する既存機能の取り扱い及び新田町交差点周辺のまちづくりの3点についてである。資料2の1ページ目「はじめに」の中にも記載しているが、本部会ではこの3点について検討いただくことを市から諮問している。今回まとめていただいた答申案の内容は、諮問に対し、答申していただく内容としては適当だと考えている。
部会長	タイトルをどうするかという御意見だと思う。これまで皆さんから意見を出していただいた内容も踏まえると、新田町交差点周辺エリアの部分もタイトルとして入れた方が良いのではないかと考えられるが。
事務局	タイトルについては、表現のしかたの問題だと思う。 もともとは廃止が決まっているもんぜんぷら座を今後どうしていくのかというテーマからスタートした。しかし、中心市街地活性化基本計画評価専門委員会の中で、もんぜんぷら座敷地だけの利活用ではスペース的な限界もあるので、新田町交差点周辺全体のまちづくりについて検討する必要があるのではないかという意見もあり、その流れを受けて今回の諮問という形になっている。答申の内容については、テーマと外れているわけではない。
部会長	もんぜんぷら座の敷地利活用だけではなく、その周辺も含めてエリア全体の議論をしないともんぜんぷら座敷地の利活用に繋がらないという流れがあったかと思う。だからこそ、委員の皆様方からも新田町交差点周辺エリア全体についての御意見が出てきたのだと思う。もんぜんぷら座敷地の利活用検討が大前提ではあるが、併せて新田町交差点周辺のまちづくりについても含まれているということで、答申の内容は皆さんに御議論いただいた内容に沿っていると思う。

事務局	本部会の名称がもんぜんぷら座敷地利活用検討部会ということなので、それを答申案のタイトルにしているところがあるが、資料2の2ページ目にある「まちづくりの方針」が答申いただく内容である。タイトルについては御指摘のとおりであるので、「新田町交差点周辺のまちづくりの提言」という表現をタイトルに入りたい。
委員	新田町周辺のまちづくりへの提言をするのは良いが、新田町の方が多く参加しているわけではない中、勝手に提言するのが心苦しい気がする。新田町の住民の皆さんはどう感じているのか。
委員	様々な考えの人がいると思うし、地元の意見として、何かまとまっているわけではないと思う。
委員	今回検討しているエリアは新田町交差点周辺なので、新田町だけではない。問御所町もあったり、1つのまちに限定しない方が良いと思う。
委員	新田町に限らず、地元の方のお話を聞きたいと思う。
委員	「新田町交差点周辺」なので、西後町なども含めた広い範囲で考えて良いと思う。
委員	権堂も直接関係があるとは言えないが、町としては繋がっているので、間接的に関係あるものとして、一緒に組ませていただきたい。内容はこれで良いと思う。
委員	もんぜんぷら座を普段使っている一般市民の方からしたら、もんぜんぷら座が今後どうなるのかは気になることであるし、中にはもんぜんぷら座を無くさないで欲しいという思いを持つ人もいると思う。そう考えると、これが「新田町交差点周辺のまちづくりへの提言」という答申になってしまうのは少し違う気がする。もんぜんぷら座がどうなるのかについては多くの皆さんも関心がある。もんぜんぷら座の今後について、みんなでわくわくしながら何か意見を出しましょう、という形でバトンタッチをしていかなければならないと思う。「もんぜんぷら座」という言葉は無くさない方向でタイトルを考えてほしい。
事務局	本部会は、もんぜんぷら座敷地利活用検討部会という名前だが、もう少し範囲を広げて新田町交差点周辺にも目を向けてまちづくりを考えていきましょうというところが非常に素晴らしいところであって、だからこそこまでまとまってきたのだと感じている。 タイトルについても皆さんから御提案をいただくものなので、内容も含めて御議論をいただきたい。
部会長	両方入れる方向で考えたらどうか。「もんぜんぷら座敷地の利活用の検討～新田町交差点周辺のまちづくりへの提言～」など。少々長いですが、そういうやり方もあると思う。
委員	資料2の1ページ目「はじめに」の下から2段落目に、「もんぜんぷら座敷地の利活用および既存機能の取り扱い、新田町交差点周辺のまちづくりの3点が市から諮問された」と書いてあるのだから、答申

	も同じように３つ表記するのはどうか。
委員	タイトルは部会長に一任しても良いと思っている。
部会長	「もんぜんぷら座敷地の利活用」に、サブタイトルとして「新田町交差点周辺のまちづくりへの提言」を入れるのはどうか。
複数委員	良いと思う。
委員	先ほど「こちよい まちなかの居場所」とテーマを決めたが、資料２の１ページ目「はじめに」の中にその言葉がどこにも出てこない。前段部分で説明がないと、居心地の良いというニュアンスがテーマとして唐突に出てくることになる。どこかに入れたほうが良いのではないか。
事務局	資料２の１ページ目「はじめに」は、基本的にこれまでの経過をまとめた部分であると認識してる。 その上で、資料２の１ページ目の最下段落に、「官民協働によるまちづくりの検討を進め、新田町交差点周辺エリアが、まちなかの居場所として多くの人が集い」や、資料２の２ページ目「まちづくりの方針」の中の３段落目に「子育て世帯や若者など、多くの人々にとって居心地の良いまちなかの居場所となり」という記載がある。
委員	確認した。では、資料２の１ページ目、２ページ目の該当箇所について、テーマに併せて「こちよい」とひらがな表記に修正していただきたい。
事務局	御指摘のとおりひらがなに修正する。 資料２の１ページ目「はじめに」の一番下の行に「まちなかの居場所として多くの人が集い」というフレーズがあるが、ここを「こちよい まちなかの居場所として」という表現にすることもできると思うが、いかがか。
部会長	では、そのようにお願いしたい。
委員	最後に、区長としてお願いしたいことがある。もんぜんぷら座のある新田町周辺は八幡川が流れていて、造酒屋さんがあったり、水がある場所である。現在は暗渠になっているが、何とかして水辺を出してほしい。そうするとまちのイメージもだいぶ変わって、「こちよいまち」になるような気がする。
複数委員	賛成。素晴らしい。
委員	先ほど、本部会で検討する内容が３点あるというのを聞いて思うのだが、文中に（１）、（２）…のように記すことは可能か。具体的には、資料２の１ページ目の下から２段落目「令和４年１１月２４日（１）もんぜんぷら座解体後の敷地の利活用（２）既存機能の取り扱い（３）新田町交差点周辺まちづくり」とすると、３点について諮問されたというのが分かりやすくなると思う。
事務局	そのような表現であればより分かりやすくなると思う。委員の皆様から御了承いただければそのように修正したいと思う。

部会長	分けて書いた方が分かりやすくなると思う。 ここまでの議論いただいた御意見を反映して、中心市街地活性化基本計画評価専門委員会へ報告したい。表現の修正や報告等については部会長である私に一任いただくということによろしいか。
全委員	賛同

(2) その他

部会長	続いて、議事2その他に移る。事務局から何かあるか。
事務局	本日いただいた御意見を基に資料1及び資料2を修正し、部会長に御確認いただいた上で、中心市街地活性化基本計画評価専門委員会へ報告をさせていただく。また、これまで熱心に議論いただいた検討内容の経過や部会資料を資料編として添付し、報告したいと考えている。
部会長	委員の皆様から質問や意見があれば伺いたい、いかがか。
委員	もんぜんぷら座周辺は重要な地区である。市も大変であることは皆さんも重々承知していることだと思うので、「そんなふうにしてしまったのか」とならないように、みんなで、民間で支えながら、様々な人たちを集めてワークショップをやるなど、常に議論を交わしていくというのはすごく大事だと思っている。学生とのワークショップなどについても、市がプロデュースしなくても、皆さんがやっていただければ良いと思う。皆さんの着地点は「素晴らしい長野市」で一致するので、随時市とコンタクトを取りながら、皆さんでやっていければ良い。私もやっていこうと思うので、皆さんもよろしくお願いしたい。
事務局	非常にありがたいお言葉をいただいた。答申を参考にして、今後皆さんに楽しんでもいただけるまちづくりをしていきたいと思う。引き続き皆様方の御指導や御協力をいただきたい。

都市整備部長あいさつ

5 その他（事務局から事務連絡）

	質疑なし
--	------

6 閉会